

2015年8月8日(土) 夏休み朗読会「朗読だから面白い! 真夏の怪談話」

夏休みの恒例となりました図書館流エコな涼み方、朗読のイベント《真夏に聞きたい怪談話》を、今年も開催いたしました。朗読していただいたのは、視覚障害者による朗読グループ「こうばこの会」のみなさんです。



真っ暗な会場に明かりがひとつ。咳払い一つでも響いてしまう静寂の中、朗読の声は、日常から不可思議な恐怖の世界へと私たちに誘います。今回の演目は『夜桜見物』『おててがほしい』『小豆とぎ橋』など、学校の怪談話から古典まで、怖いだけでなく切ないお話も交えたバラエティーに富んだ全9話です。

演出にも工夫を凝らしています。昨年から取り入れた朗読劇の手法もパワーアップしました。朗読している方とは違う方が別の声を担当するという演出ですが、今年は、空襲で燃え盛る炎の熱さに泣き叫ぶ人々を、朗読者の7名全員で担当されました。男の人の声、女の人の声、子どもや大人…それぞれの特徴ある声は何十人もいるような声の厚みとなり、

その臨場感に背筋が凍りました。

演目の中には楽しいお話もあります。後半は会場を明るくして、絵本の朗読から始まりました。ちょっと気の弱い幽霊としっかり者のおばあさんとのやりとりが楽しい『ゆうれいとどろぼう』。穏やかな語りにも、束の間ほっとさせられました。



参加された皆さんから「声が素晴らしく、聞き入ってしまった」「大人でも楽しめるものと子どもむけの話のバランスが良かった」などの感想をいただきました。

毎年工夫を凝らしてくださる「こうばこの会」のみなさんに感謝。来年も朗読を通して、声の魅力をお届けしたいと思います。どうぞご期待ください。